

デジタル田園都市国家構想 田原市総合戦略の効果検証〔戦略期間:令和6年度～令和9年度 4ヵ年〕

参考資料2

【基本方針1】雇用の創出・就労促進

重要業績評価指標【KPI】	令和4年度 (2022) 現在値	令和6年度 (2024) 実績値	令和7年度 (2025) 実績値	令和8年度 (2026) 実績値	令和9年度 (2027) 実績値	KPI 達成状況	令和9年度 (2027) 目標値
新規就農者数	24人	31人				計画を 下回る	50人
農畜水産物の新規販 路成約件数 (累計)	4件/4か年	2件/1か年累計				計画を 上回る	4件/4か年 (年平均1件)
臨海部における立地 企業数	79社	80社				概ね 計画どおり	87社
創業者数	19件	26件				概ね 計画どおり	32社
年間宿泊者数	24.1万人	35万人				計画を 上回る	30万人
道の駅利用者数	115.4万人	150.3万人				概ね 計画どおり	180万人
サンテパルク田原 利用者数	29.4万人	27.4万人				概ね 計画どおり	39万人

【基本方針2】定住・移住促進

重要業績評価指標【KPI】	令和4年度 (2022) 現在値	令和6年度 (2024) 実績値	令和7年度 (2025) 実績値	令和8年度 (2026) 実績値	令和9年度 (2027) 実績値	KPI 達成状況	令和9年度 (2027) 目標値
若い世代(0歳～39歳) の市外からの 転入者数	2,006人	2,115人				計画を 上回る	2,100人
空き家バンク活用によ るマッチング 件数	8件	4件				計画を 下回る	12件
サーファー等の移住 数(累計)	36人/4か年	4名/1か年累計				計画を 下回る	40人/4か年 (年平均10人)
ふるさと教育 実施機関数	23機関	23機関				概ね 計画どおり	23施設
コミュニティ・スクール 導入校数	4校	10校				概ね 計画どおり	11校

【基本方針3】若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現

重要業績評価指標【KPI】	令和4年度 (2022) 現在値	令和6年度 (2024) 実績値	令和7年度 (2025) 実績値	令和8年度 (2026) 実績値	令和9年度 (2027) 実績値	KPI 達成状況	令和9年度 (2027) 目標値
カップル成立 組数(累計)	72組/4か年	10組/1か年				計画を 下回る	100組/4か年 (年平均25組)
保育標準時間 対応実施園数	9園	11園				計画を 上回る	9園
公的病院における産 婦人科・小児科の医 師確保	産婦人科 2人 小児科1人	産婦人科 2人 小児科1人				概ね 計画どおり	産婦人科 2人 小児科1人
ふるさと教育 実施機関数	23施設	23施設				概ね 計画どおり	23施設
コミュニティ・スクール 導入校数	4校	10校				概ね 計画どおり	11校

【基本方針4】地域の魅力・住み良さの向上

重要業績評価指標【KPI】	令和4年度 (2022) 現在値	令和6年度 (2024) 実績値	令和7年度 (2025) 実績値	令和8年度 (2026) 実績値	令和9年度 (2027) 実績値	KPI 達成状況	令和9年度 (2027) 目標値
居住誘導区域の人口割合	33.5%	34.0%				概ね 計画どおり	34.5%
年間宿泊者数	24.1万人	35.0万人				計画を 上回る	30万人
広域連携による 共同処理事務の 実施数	8事業	8事業				概ね 計画どおり	9事業
渥美半島田原市 応援寄附金件数	6,948件	54,639件				計画を 上回る	30,000件
市内における 診療所数	28施設	28施設				概ね 計画どおり	28施設
たはら健康マイ レージ達成者数	547人	499人				計画を 下回る	1,200人
高齢者のサロン等 通いの場への 参加率	6.9%	8.2%				概ね 計画どおり	8.5%
市内公共交通利用 者数	126万人	149万人				計画を 上回る	148万人
空き家バンク活用 によるマッチング件 数	8件	4件				計画を 下回る	12件
行政手続きのオン ライン化率	26%	82%				概ね 計画どおり	100%



効果検証

- 重要業績評価指標（K P I）[全27項目]のうち、令和6年度までの実績値と令和9年度目標値を比較し、「計画を上回る」、「概ね計画どおり（目標値7割以上）」「計画を下回る（目標値7割未満）」の3段階で評価した。
- 全体では、「計画を上回る」又は「概ね計画どおり」としたものは21項目（77.78%）であった。
- 「計画を下回る」とした6項目は、物価高の影響に加え、社会環境の多様な変化等により十分な成果が得られなかったと考えられる。